

## 令和8年度 学校長あいさつ

「積小為大」～一粒の努力未来の実り～

島原農業高校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和7年4月に赴任し、第23代校長として今年度2年目となりました。令和8年度も、本校に学ぶ生徒のために、島原農業高校全職員で取り組んでまいります。本年度もよろしくお願い申し上げます。

本校は昭和27年に地域農業の発展と人材の育成の期待を担い、この島原の地に開校されて以来、73年の歴史と伝統を持つ農業高校です。学科改編した令和2年度より、農業ビジネス科・食品サイエンス科・生活創造科の3学科において、将来、島原半島の農業・産業・ヒューマンサービス業を担う生徒に、実学（実験・実習）をとおして、実践力を育む教育を展開しています。「誠実・勤労・創造」の校訓のもと、先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎながら、75年目の歩みを進め、新たな伝統を築いてまいります。今年度は「積小為大」をテーマに、本校の教育目標や努力目標の実現に向け、次の3点を本校生徒に示し、学校活動をすすめてまいります。

### 1 校訓「誠実」「勤労」「創造」をいつも心に

本校の校訓である三つの言葉を大切にします。誰に対しても真心で接する誠実さ、労をいとわず勤める姿勢、自ら考え創造する力、これらを意識することにより、人に優しく、思いやりのある言動ができる「素直で誠実な高校生」そして「勤勉で発想力豊かな創造力のある高校生」を育成します。

### 2 様々な命に触れ、思いやりがあり地域を思う高校生になろう

本校は、農業地帯であるこの地域をフィールドとした特色ある取り組みを実践するとともに地域に貢献する学校です。人は一人では生きていけません。大切なことは自分がその社会にどのように貢献するかということです。それには他者を思いやる気持ちが必要です。また、人間関係のみならず動物や植物に対する思いやりも必要です。本校では、さまざまな命から学ぶことがたくさんありそれを大切にしています。社会に出たとき思いやりの気持ちを大事に地元で貢献できる人材となれるよう支援します。

### 3 日々の進歩を自覚して努力する姿勢を身につけよう

専門高校である本校では、教室での学習、農場実習、部活動など様々な学びの場があります。今まで経験したことがない農業高校独自の取組もあり、そこで日本一を目指すこともできます。目標を立てて挑戦し、次につながる一歩を踏み出してください。そしてそれを通過点としてさらなる高い志を持ち挑戦してください。日々の成長を自覚し、皆さんが輝ける場所がこの学校にはきっとあるはずです。

「積小為大」（せきしょういだい）～一粒の努力未来の実り～

令和8年度はこの言葉を合言葉とし、生徒・職員ともに熱い想いで頑張ってください。今後とも、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

長崎県立島原農業高等学校長 甲斐 毅彦  
(第23代校長 R7.4～)